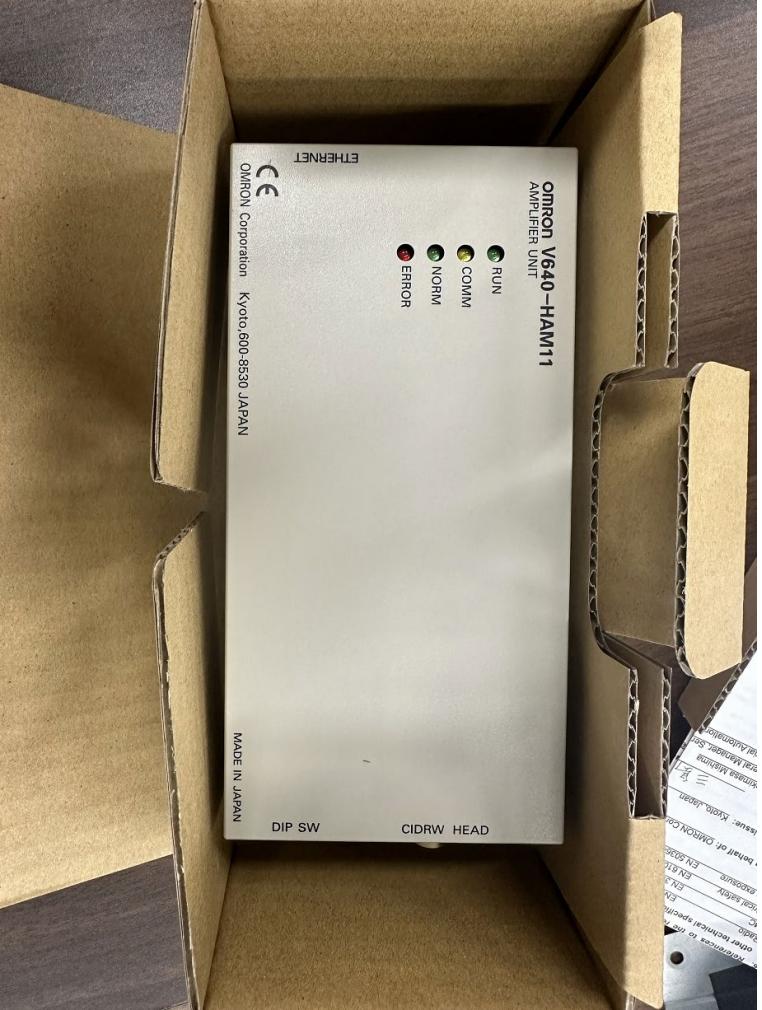


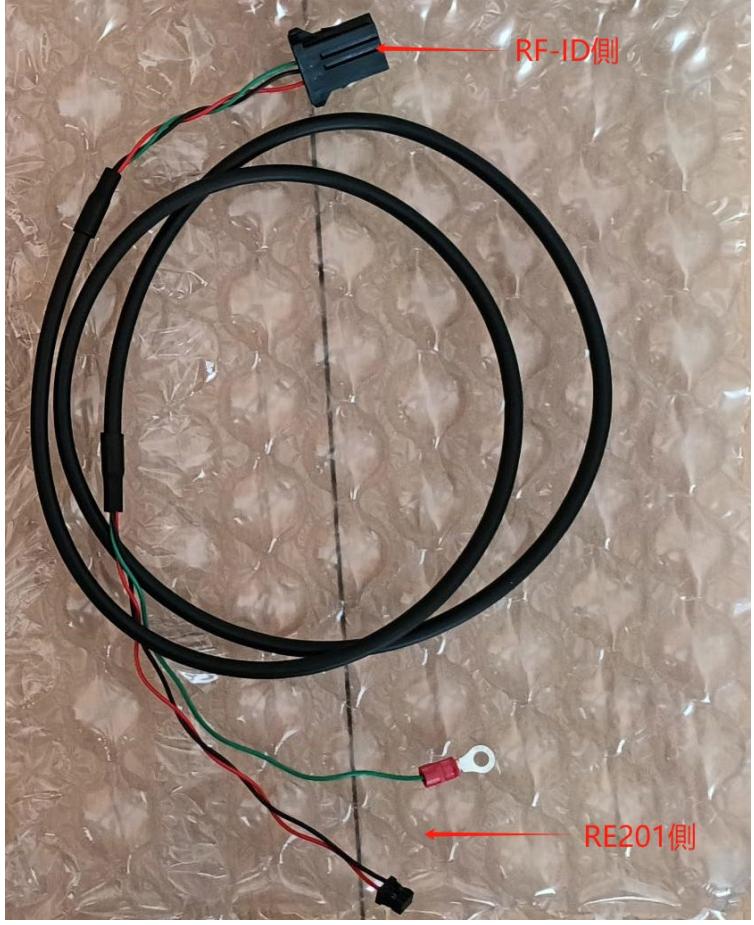
# RE201 に RF-ID の追加手順書

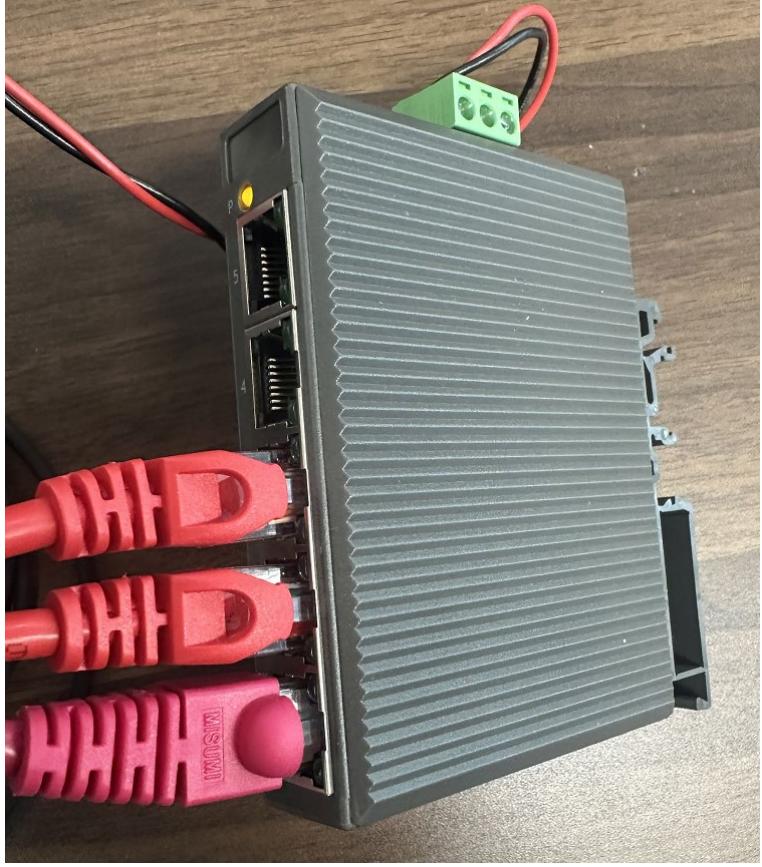
2025 年 5 月 13 日

作成: 岐

手順1: 部品の準備

項目	品名	写真
①	RF-ID 読み取りリーダー	
②	RF-ID 読み取りアンテナ	

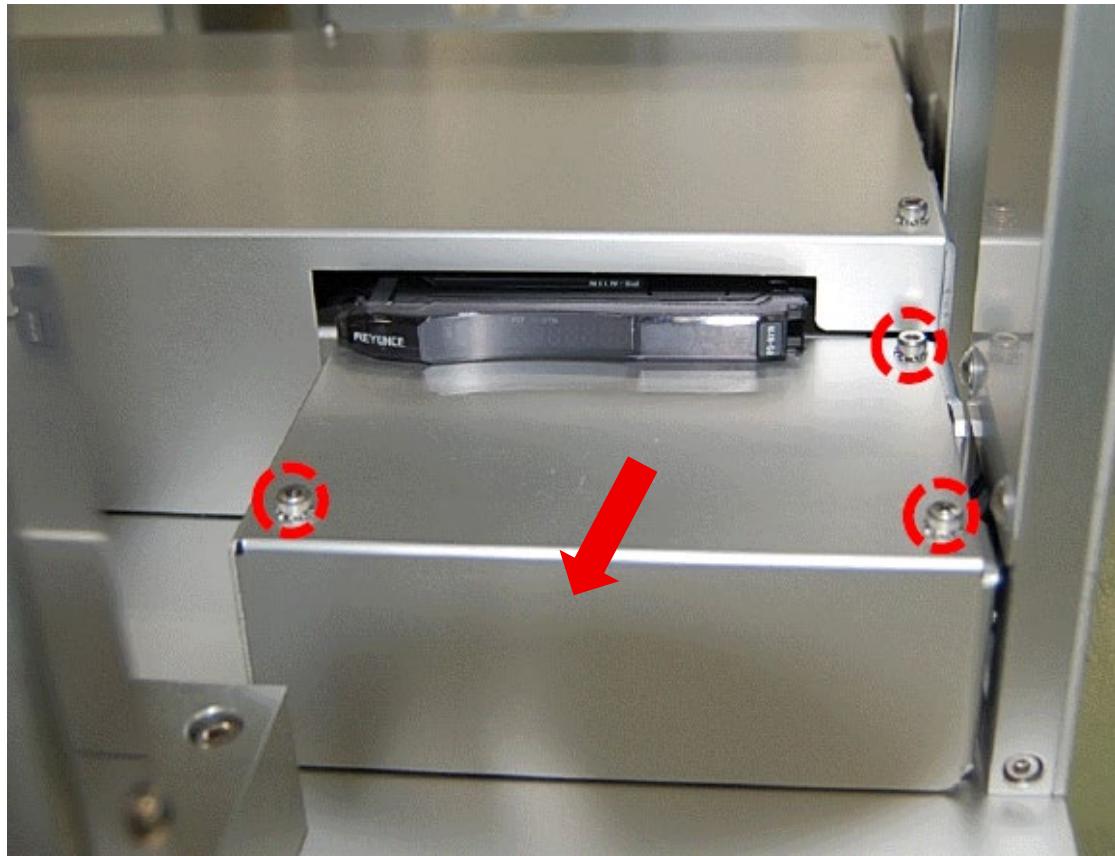
③	RF-ID 用 24V 電源ケーブル	
④	RF-ID 用 LAN ケーブル	

⑤	5 ポート HUB 及び24V 電源 ケーブル	
⑥	RE201	

手順2:

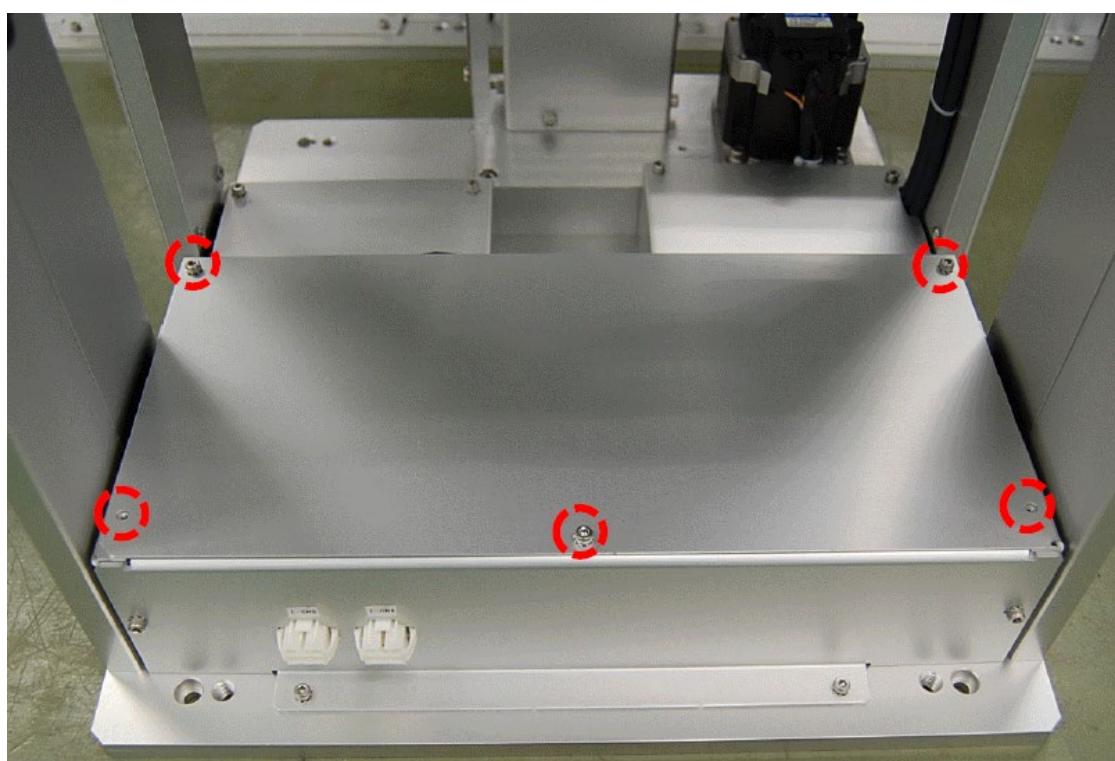
RE201 のコネクタパネルカバーを外す

下記 3 つねじ外して、矢印方向にカバーを抜き出します。



手順3:

制御部カバーを外す、下記 5 つねじを外して、上方向にカバーを持ち上げます。

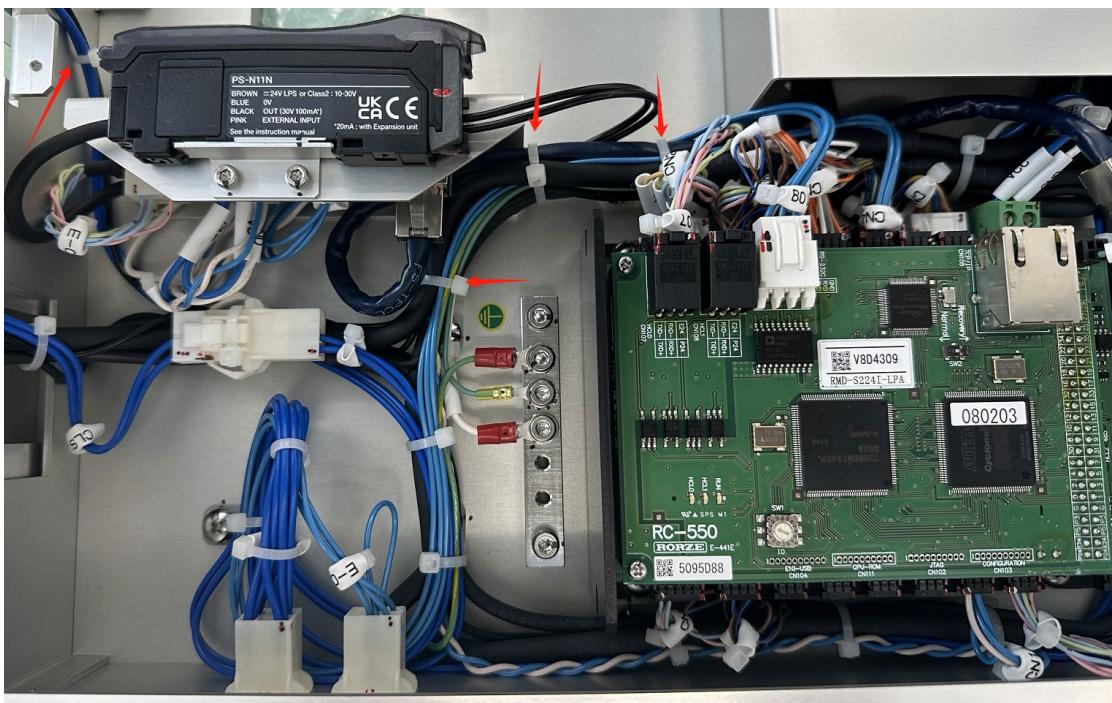


手順4:

下記4か所インシュロックを切り取ります。

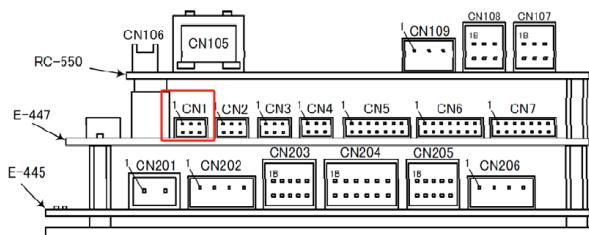
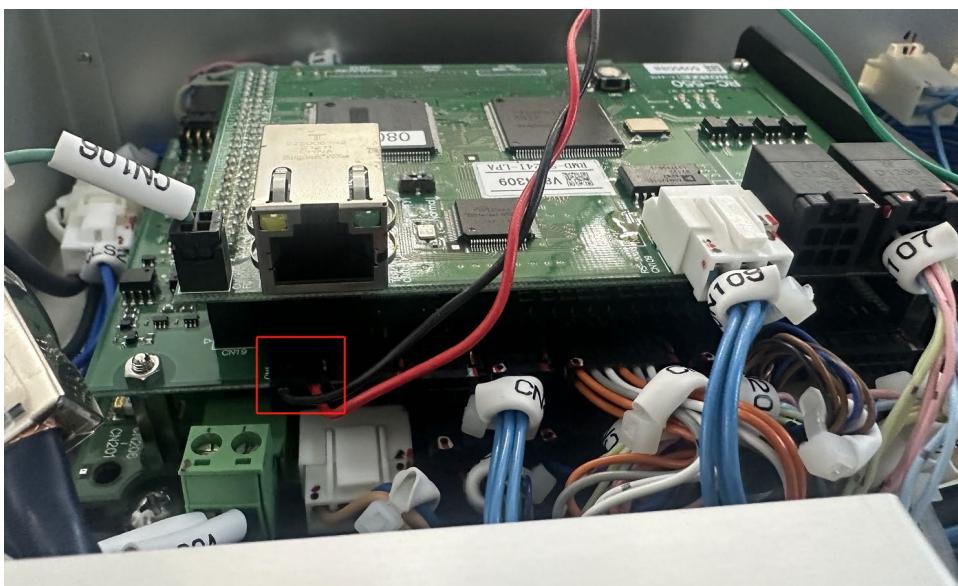
手順5:

RF-ID用24V電源ケーブルの端子側をM4x6ねじでアースバーに接続



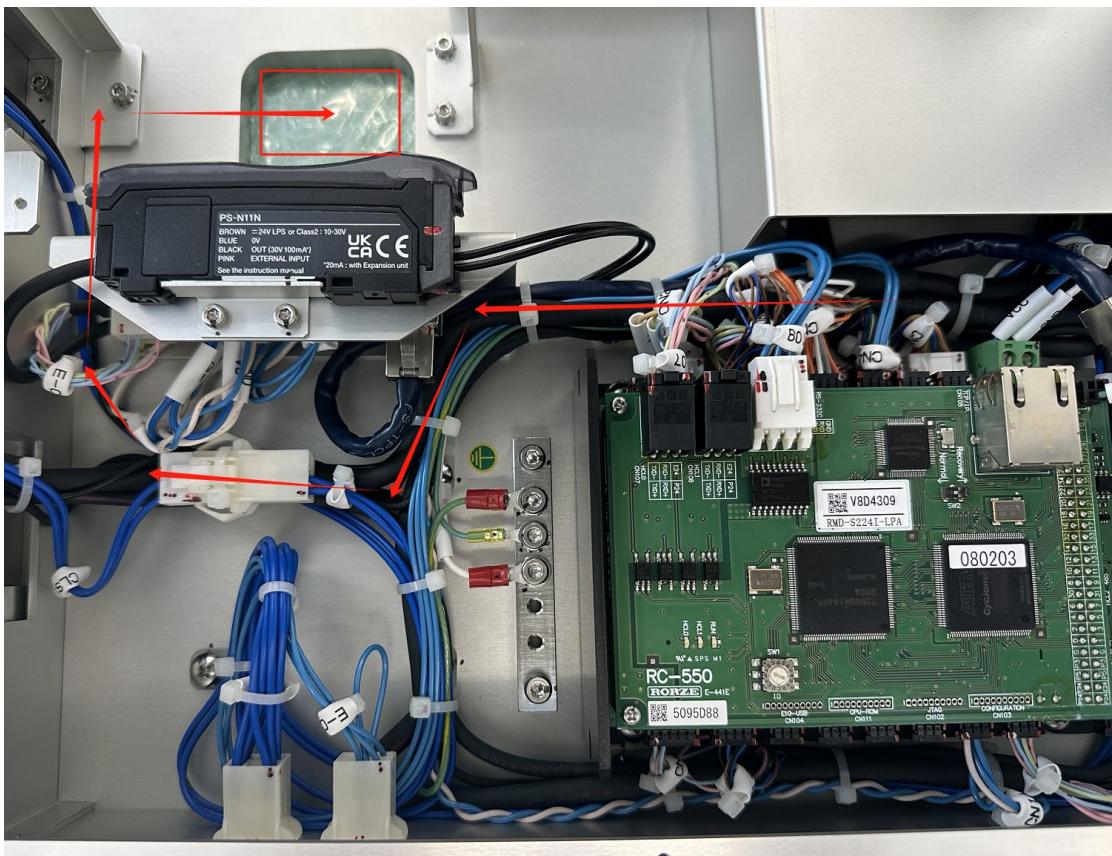
手順6:

コネクタ側は基板のCN1までに差し込みます。※基板側にから短路防止のため、空コネクタは挿してある増すので、まずは空コネクタを抜くことは必要です。



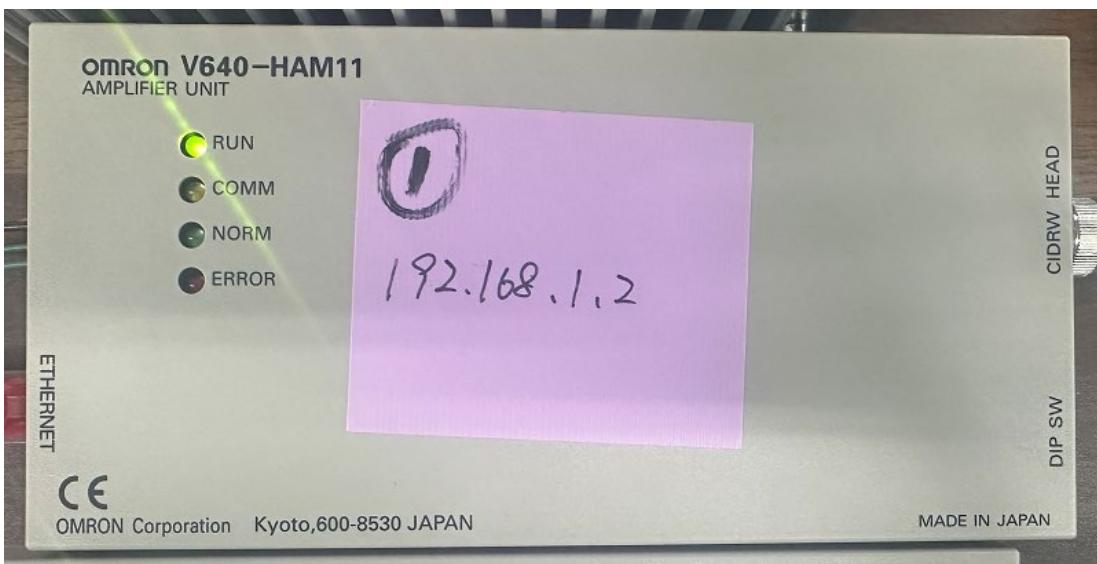
手順7:

RF-ID 用 24V 電源ケーブルを下図の矢印方向に配線して、インシュロックで固定します  
ケーブルは赤い枠から外部に出します。



手順 8:

電源ケーブルを RF-ID アンプに挿して、LODAS 電源を入れます。RF-ID 下図のように点灯すれば電源正常供給できます。



手順 9:

LODAS 装置電源を OFF して、RF-ID 電源を抜いて実機配線します。

手順 10:

下図赤枠内にアンプを設置します。固定穴がないため、インシュロックを利用してケーブルに固定します。



手順 11:

LAN ケーブルを挿して既存ケーブルと一緒に配線します。制御盤 PCLAN1まで差し込みます。

手順 12:

RE201 ステージの下側に取り付けますので、カバーの 4 つのねじを外して、アンテナを入れて固定します。

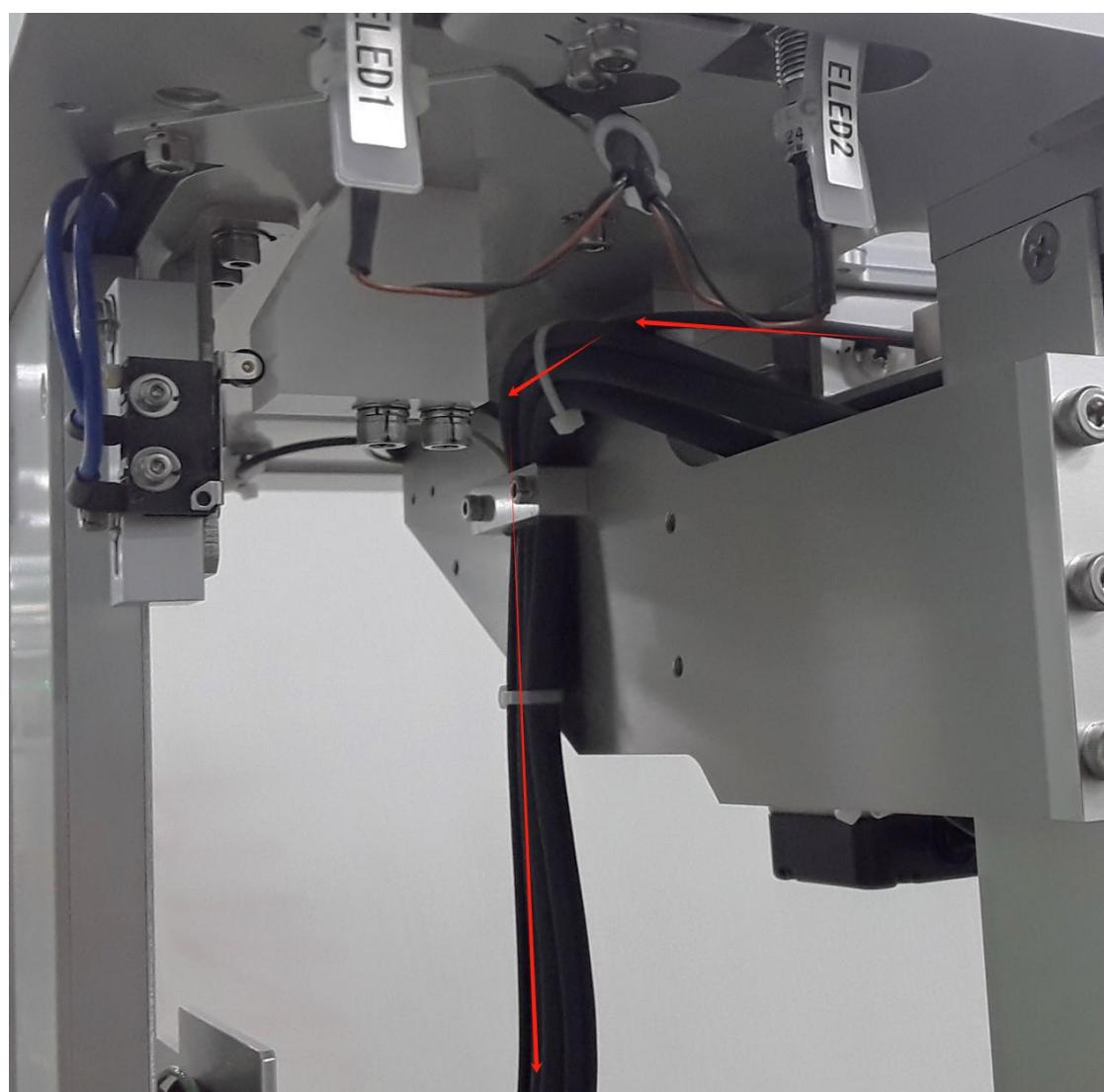
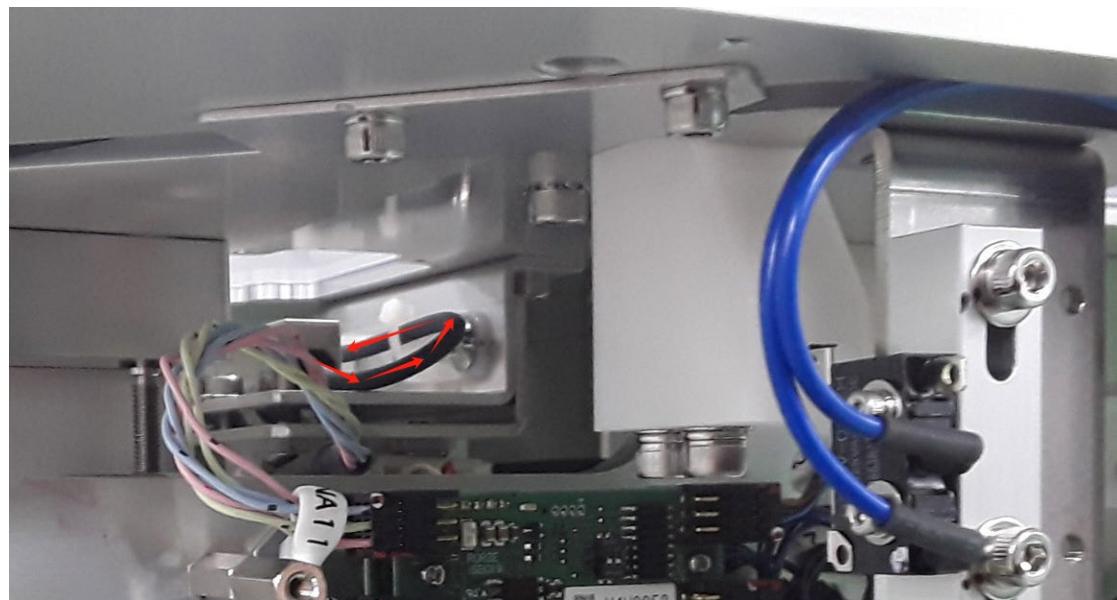


手順 13:

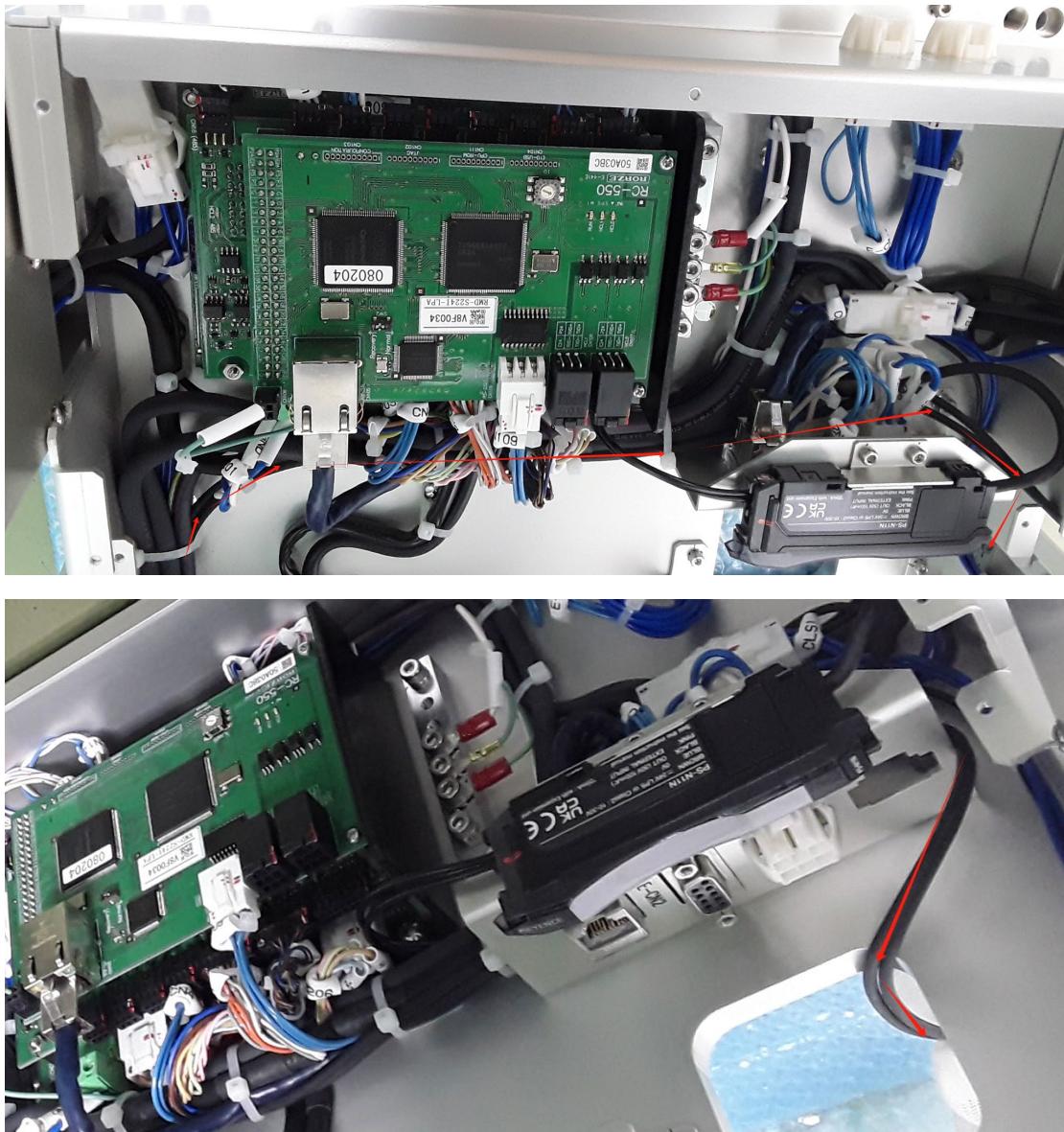
付属ケーブルも入れて配線します。

手順 14:

アンテナは下図の赤い矢印の通りに配線します。







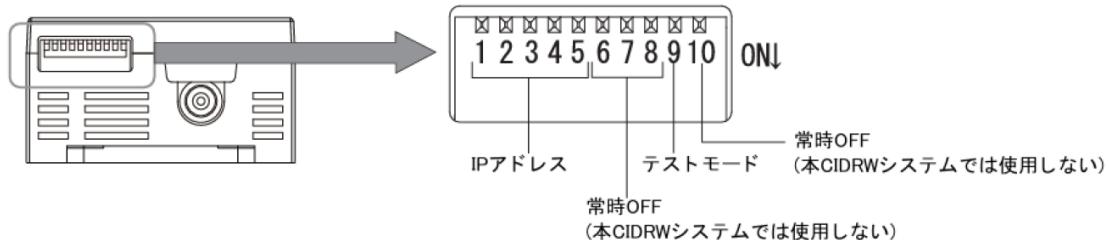
手順 15:

RF-ID アンプに挿します。挿した後コネクタを回してロックします。



手順 16:

DIP-SW 設定、下は ON



## IP アドレス

1号機  
2号機  
3号機

IPアドレス	DIP-SW				
	1	2	3	4	5
ROM設定	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
192.168.1.1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
192.168.1.2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
192.168.1.3	ON	ON	OFF	OFF	OFF
192.168.1.4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
192.168.1.5	ON	OFF	ON	OFF	OFF
192.168.1.6	OFF	ON	ON	OFF	OFF
192.168.1.7	ON	ON	ON	OFF	OFF
192.168.1.8	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
192.168.1.9	ON	OFF	OFF	ON	OFF
192.168.1.10	OFF	ON	OFF	ON	OFF
192.168.1.11	ON	ON	OFF	ON	OFF
192.168.1.12	OFF	OFF	ON	ON	OFF
192.168.1.13	ON	OFF	ON	ON	OFF
192.168.1.14	OFF	ON	ON	ON	OFF
192.168.1.15	ON	ON	ON	ON	OFF

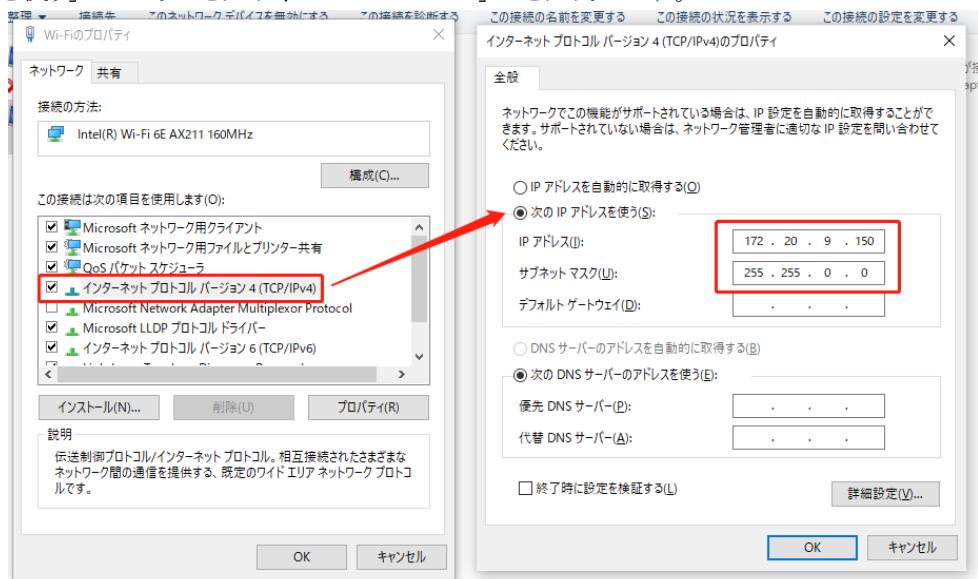
## 手順 17:

コントロールパネル → ネットワークとインターネット → ネットワークの状態とタスクの表示 → アダプターの設定の変更



接続中のネットワークを右クリックして、プロパティに入ります。

「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」をダブルクリックして、「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れ、「192.168.1.150」IP を入力します。



「OK」をクリックして、終了します。

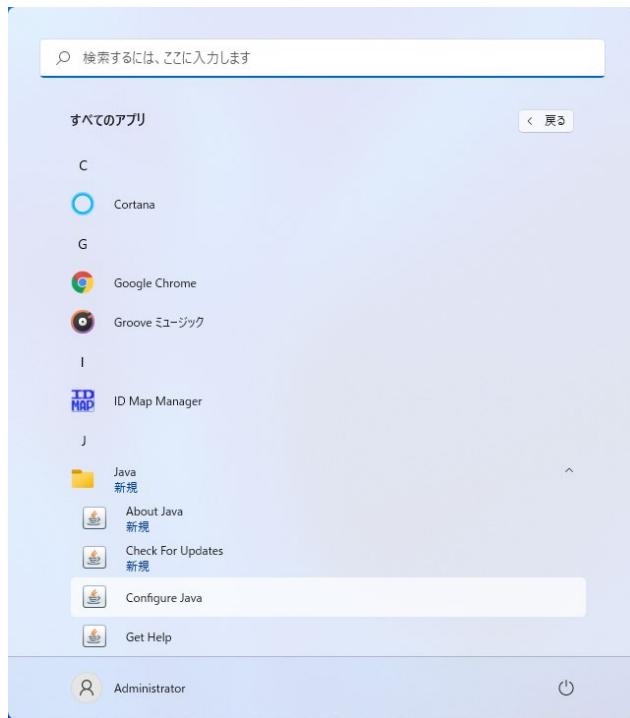
## 手順 18:

・以下のソフトウェアをインストールしてください。

Java

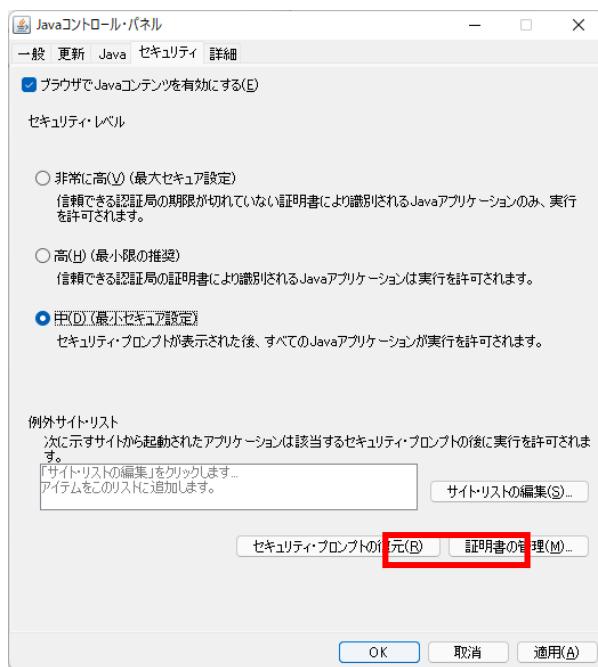
jre-7u79-windows-i586.exe

・すべてのアプリから Java の Configure Java をクリックしてください



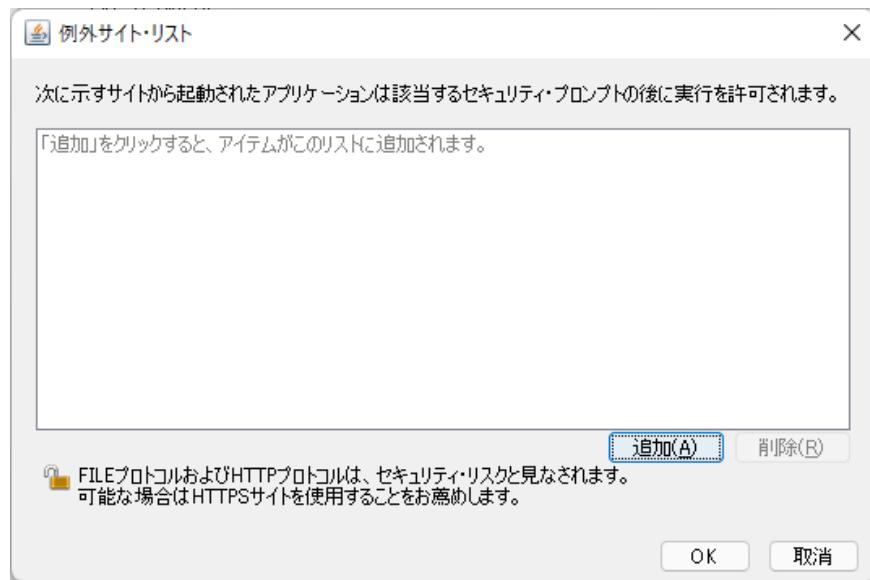
### 手順 18:

- 「サイト・リストの編集」をクリック



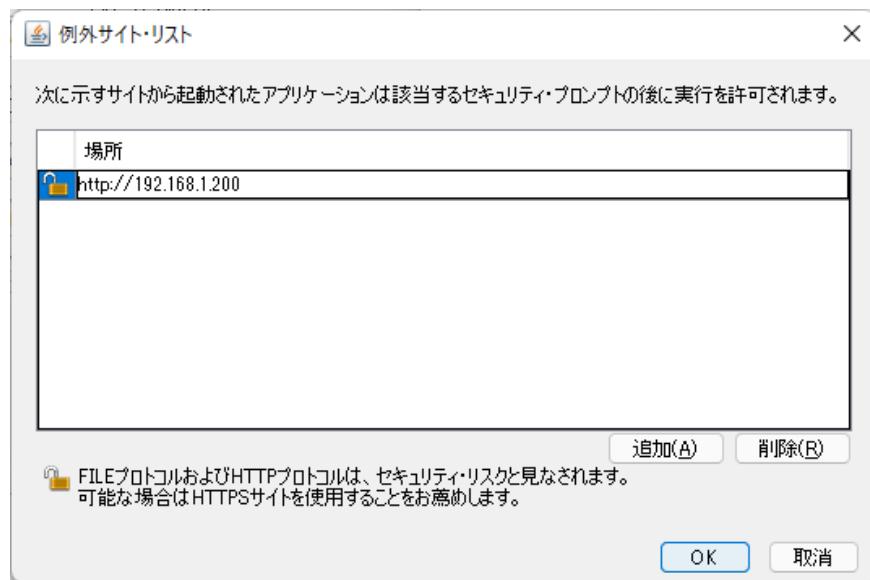
手順 19:

- ・「追加」をクリック



手順 20:

- ・192.168.1.200 (V640 の IP を追加)



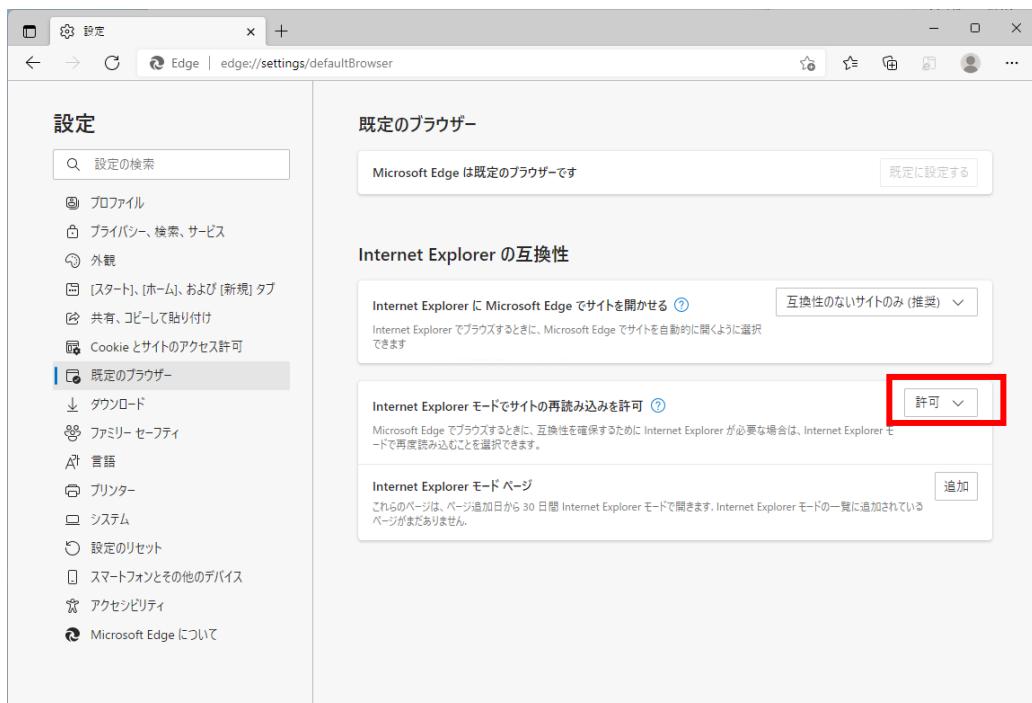
## 手順 21:

- ・「Edge」を起動して、右上の「…」をクリックして、「設定」をクリックします



## 手順 22:

- ・設定メニューから「既定のブラウザー」をクリックして、「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」を「許可」に変更します



手順 23:

- 「Internet Explorer モードページ」の追加をクリックして、192.168.1.2(V640 の IP)を追加します。

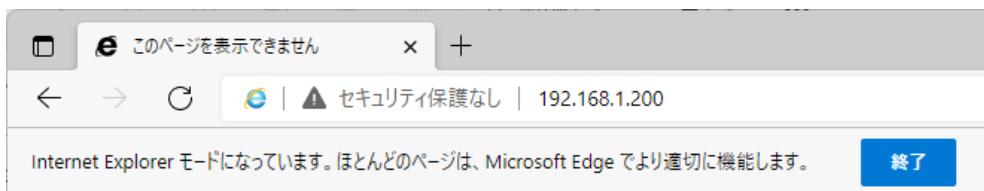


手順 24:

- Edge を起動してアドレス欄にリーダライタの IP アドレスを入力して、「Enter」を押す。



- 「接続の問題を修正」をクリック



## このページを表示できません

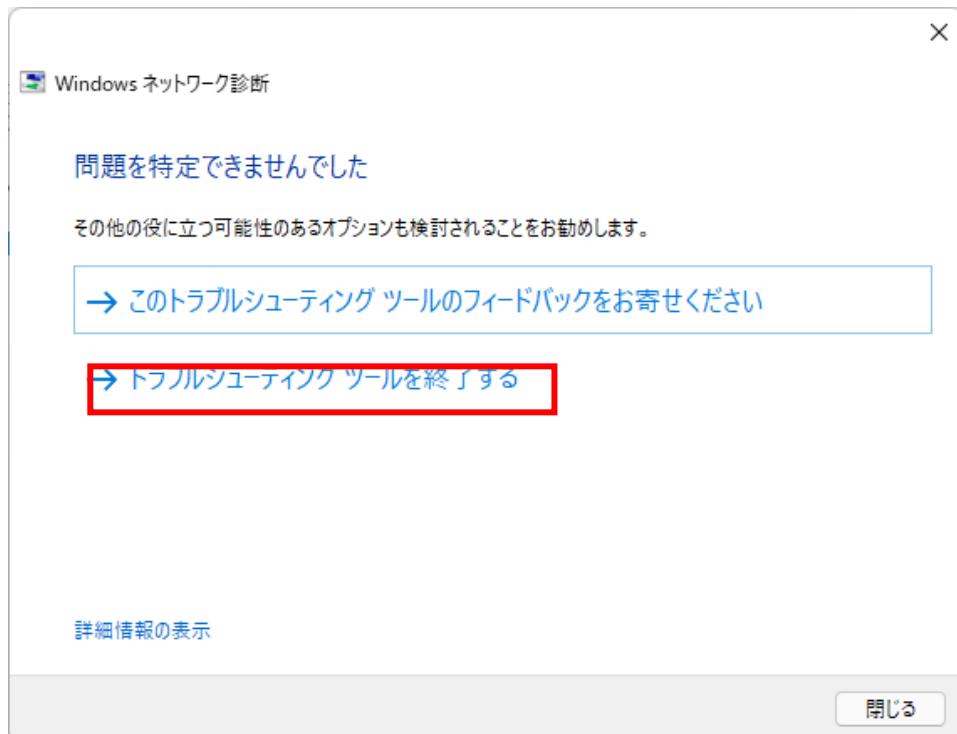
- Web アドレス http://192.168.1.200 が正しいか確かめてください
- Bing でこのサイトを検索
- ページを更新

### ▼ 詳細情報

[接続の問題を修正](#)

手順 24:

- ・”問題を特定できませんでした”と表示されたら、「トラブルシューティングを終了する」をクリックしてください。



- ・「今回は実行」をクリック



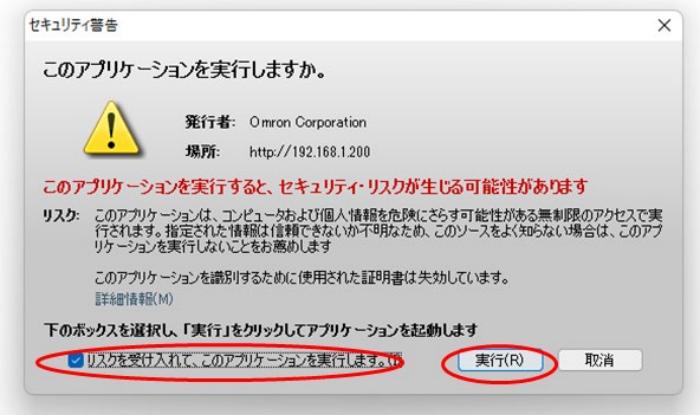
## 手順 25:

- Web ブラウザインターフェース起動時に Java Update のダイアログが表示される場合があります。「ブロック」をクリックしないようにご注意ください。  
「後で」をクリックすると Java アップデートを実施せずに Web ブラウザインターフェースを起動します。

Java Updateが必要



- セキュリティ警告メッセージが表示された場合は、「リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します」をチェックして「実行」ボタンをクリックしてください。  
注意) PC 環境によっては、再度2の画面が表示される場合があります。  
その場合は、2~3の処理を繰り返してください。



- 下記の画面が表示します



Japanese  English

Status Settings Command Noise Monitor

Refresh

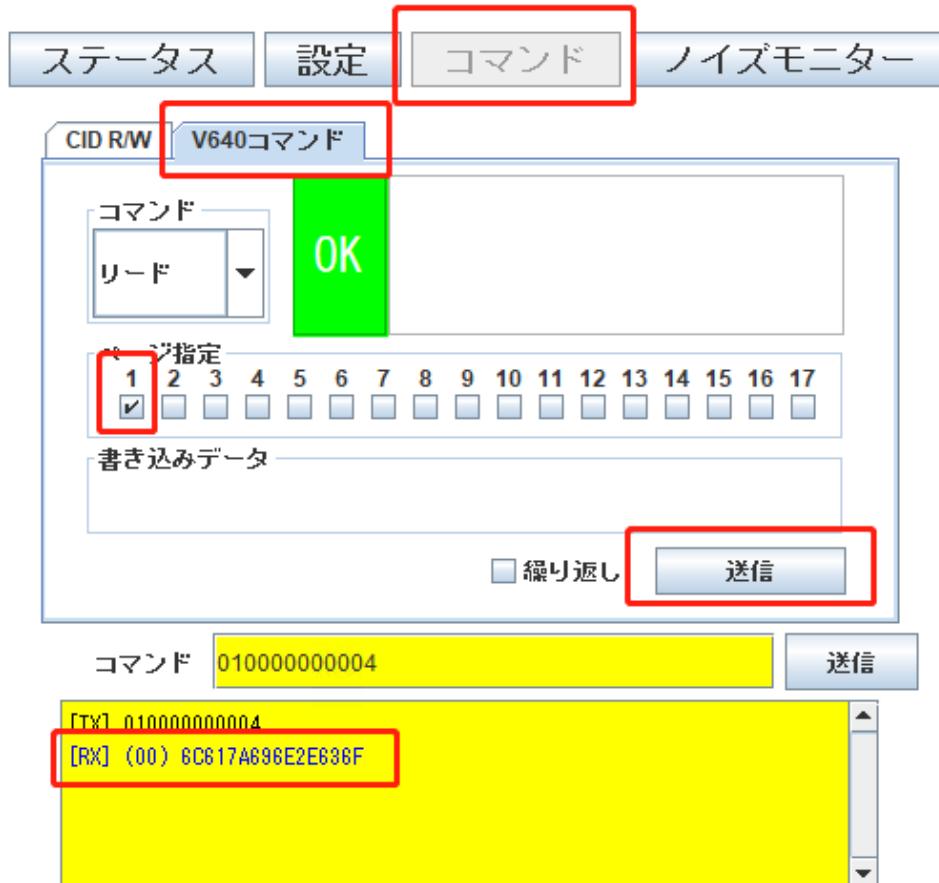
<b>Model</b>	V640-HAM11-ETN-V2
<b>Firmware Version</b>	1.01
<b>MAC Address</b>	00 : 00 : 0A : 3C : 5A : 3C
<b>DIP-SW</b>	Disabled
<b>Network Settings(DIP)</b>	
IP Address	
Subnet Mask	
<b>Network Settings(ROM)</b>	
IP Address	192.168.1.200
Subnet Mask	255.255.255.0
<b>Latest Communication</b>	
Command Code	
Response Code	
<b>Communication History</b>	
Total	0
Success	0
Error	0
<b>H/W Status</b>	
Memory	OK
Antenna	OK

Copyright OMRON Co.,Ltd

- ・「コマンド」 → 「V640 コマンド」 → 「ページ指定」の 1 にチェックを入れ → 「送信」
- 「RX(受信)」の後ろは現在 RFID のデータです。

OMRON

◎ 日本語 ◯ 英語



・ここまで確認ができましたら、RFID の確認が終了します。